

西部パレット利用者連絡会ニュース

【発行】西部パレット利用者連絡会幹事会

【発行日】2011年6月24日 NO.12号

● 「東北とつながるカプロジェクト」をご活用ください

3月19日の第8回西部パレット利用者連絡会全体会において、さまざまな市民活動を行っている団体の“連携”を生かし、大震災被災者への支援活動を進めるために、「東北とつながるカプロジェクト」の設置を決議し、被災地の自立を目指す支援を行っている「認定NPO法人・JEN」へ送る募金活動を実施したこと、また、西部パレット利用者連絡会の横の連携をするためのブログを立ち上げたことを前号でお知らせしました。

現在、ブログでは「つながろう 県外のボランティアでもOK 第7弾」をお知らせしています。避難所から仮設住宅へ引っ越しする人も、また、ライフラインが整い、避難所から自宅へ戻る人も少しずつ増えてきました。が、被災地は広く、復興の道のりは遠いという状況です。支援を必要としている方は、まだまだたくさんいらっしゃいます。前回の利用者連絡会でも、「息の長い支援が必要」との声がありました。

みなさまの団体で行っている支援を、他の団体へも呼びかけ、みんなで支援していきましょう。いろいろな団体と積極的に情報交換することによって、迅速で適確な支援活動が可能となります。被災地への長期にわたる支援を続けるために、引き続き支援活動に関わる情報提供をお願いします。

情報の提供は、NPO法人浜松NPOネットワークセンター(メール:QWS05442@nifty.com)へお寄せください。

「東北とつながるカプロジェクト」ブログ <http://tohoku-chikara.blogspot.com/>

● 「西部地域交流プラザあい方検討会」始動

6月10日、第1回のパレットの今後についての話し合いが行われました。

会議は、県民生活局長の挨拶に始まり、参加者自己紹介、議事という内容でした。議事のはじめに、検討会の開催要領の確認がありました。

今回の出席メンバー

- ・会長：県民生活局長（松井さん）
- ・副会長：西部県民生活センター所長（杉浦さん）
- ・浜松市市民協働推進課長（今中さん）
- ・磐田市市民活動推進課部付主査（鈴木さん）
- ・湖西市市民協働課長（森さん）
- ・浜松市市民協働センター指定管理者（長田さん）
- ・NPO団体スポーツサポートとうかい代表（大藪さん）
- ・西部地域交流プラザ指定管理者（野尻理事長、鈴木事務局長）
- ・利用者連絡会代表：井ノ上（浜松NPOネットワークセンター）、池谷（「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク・浜松）
- ・事務局：環境部県民生活局県民生活課（参事兼課長代理の鈴木さん、塚本課長）

報道にも公開され、2社が取材に来ていました。議事録は、事務局が作成しますので、皆さんには後日お見せできると思います。

まず、県から、西部地域交流プラザの設置から、これまでの運営の経緯、また、県のNPO推進の経過、そして、これからの方向性の説明がありました。

その後、発言を求められましたので、昨年度8月の県民会議で出た結論が利用者連絡会の希望であることを言いました。「障害のあるなし、国籍の違い、若者から高齢の方に至るまでが、あの場所に集い、お互いの活動を知ることができる場所が西部パレットであり、その名のとおり、いろいろな色が混じり合い、バリアフリーの意識を育み、実践の場であり、すてきな市民が育つ場となっている。費用の減額が必要ならば、スペースを減らす覚悟もある。」と。

県は、県のNPO施策は、中間支援の育成という次の段階にステップアップしているから、ハード面は市町に役割分担したいということでした。

次回は、県から、新しいNPO施策についての説明があります。

この会議は、2か月に1度の割合で開催される予定で、平成24年8月31日までに結論を出し、平成25年度の計画を立てるとのことです。以上、10日の概要の報告です。（文責 池谷）

拡大幹事会へのお誘い：7月6日（水）18：00時より西部パレット交流プラザ（和室）にて幹事会を開催します。幹事以外の方の参加も歓迎します。議題：第1回検討会の報告、その他